

【第3回久留米市民温水プール指定管理者候補者選定委員会 会議録】

- 日 時 令和3年10月15日（金） 午後1時00分～午後4時45分
- 場 所 宮ノ陣クリーンセンター 大会議室（ハイブリッド会議）
- 出席者 満園委員、新井委員、矢野委員、佐藤委員、溝江委員
- 事務局 酒井（環境部施設課長）、鐘江（環境部施設課長補佐）、堀（環境部施設課技術主査）、岡田（環境部施設課）、石松（環境部施設課）、武田（環境部施設課）
- 開催形態 非公開

1 審査手順・スケジュール等の確認について

事務局より、審査点順・スケジュール等について説明を行う。

- ・応募者は3団体であり、プレゼンテーションは申請書の受付順とする。
- ・各団体プレゼンテーション（20分）、質疑応答（20分）を行う。
- ・プレゼンテーション終了後、各委員は評定（採点）を行う。
- ・事務局にて集計を行い、結果を委員会へ報告する。
- ・集計結果に基づき、最優秀提案者（優先交渉権者）及び第2位候補者（第2交渉権者）を選定する。
- ・採点に際しての最低基準点は、全委員で87.5点とする。

以上のことについて事務局から報告。

2 2次審査（プレゼンテーション）

（1）応募団体A（13：10～13：50）

【委員質問・意見】

貸借対照表の中で、短期貸付金と短期借入金の金額が大きい。勘定科目の内訳の中には「その他」という形でしか記載されていないが、その内容について説明してほしい。

【応募団体回答】

コロナの影響で収支に不足が生じる分は、行政とのリスク分担で補填してもらうことになっていた。実質的な経常利益はプラスだが、業者に支払う分とコロナで先の見通しがつかないことから短期の借入れをしている。行政からの補填が遅く、まだ入ってきていないためである。

【委員質問・意見】

市民の健康増進や体力向上に役立つ公共施設という施設の目的から、トレーニング室の活用や機器のあり方に関して考え方を伺いたい。

【応募団体回答】

トレーニング室では、運動負荷の低い自主事業をすることで運動継続率と自立するための友達作りと教室参加を繋げたい。マシンについては、全ての部位にトレーニングできるものと、人気の高い有酸素系のマシンの配置を考えている。

【委員質問・意見】

有酸素系のマシンの配置とは、普段からよくマシンを利用する方向けのものを強化・充実していくということなのか。

【応募団体回答】

女性の運動実施率を高めていきたい。運動率の低い中年層の女性がトレーニングに合わせて、親子で参加できる自主事業を企画したい。また、若い女性も参加できるマシンの配置と企画を進めていきたい。

【委員質問・意見】

教室や運動指導に関して、考え方としてはマシンを重視するということか。

【応募団体回答】

マシンを重視するということではない。

【委員質問・意見】

指導にかかわる人たちの資質の担保はどうしているのか。健康運動指導士やJATIのトレーニング指導士が一定数配置されるのか。有資格者がいないのであれば、御社で研修を徹底するのかどうか教えてもらいたい。

【応募団体回答】

健康運動指導士か健康運動実践指導者を配置したい。また、トレーニングの研修がマニュアル化してあるので、職員に定期的に実践していきたい。教室に関しては、久留米総合スポーツセンターや基山の教室での講師とのネットワークを活かしながら、運営していきたい。

【委員質問・意見】

久留米総合スポーツセンターと連携しているのか。

【応募団体回答】

はい。今の指定管理者の前に6年間、指定管理者として運営していた。

【委員質問・意見】

障害者の方に対するアプローチはどう考えているのか。障害者の方にやさしい環境をつくるということは、全ての方々に門を開いているということになると思う。

【応募団体回答】

障害者の声を聞きながら、どうやってサポートをしていけばいいのかをヒアリングした上で、スポーツに取り組めるような環境を整える取り組みをしている。

【委員質問・意見】

プールは水環境なので、セーフティーネットとして溺者救助に関してはどのように考えているのか。

【応募団体回答】

事故に備えて、全職員事前に研修を行う。また、消防庁の救急救命、日赤の水上安全法など処置を中心にしっかり研修して監視する。

【委員質問・意見】

有資格者は一定数いるのか。

【応募団体回答】

はい。

【委員質問・意見】

1千万の投資事業をするとあったが、具体的に説明してほしい。また、地域連携や久留米市の発展のために、観光振興、特産品の販売、市民ギャラリーなどを行うとあるが、場所が限られている。具体的にどのように考えているのか。シャワー室、男女更衣室にアメニティを設置するとあるが、どのようなものを設置するのか。

【応募団体回答】

投資の内容は、会員管理システムが約100万円、券売機が約130万円、トレーニング機器が約600万円、その他トレーニング室を充実したい。次に市民ギャラリーだが、入口から入って右の場所が広くて活用しやすいので、掲示板を置いたり、教室で描いた絵を掲示したりする予定で、そこまで場所をとらない。現在はコロナ禍で使用できていない、空いている部屋を利用して教室を行いたい。環境事業で、エコツーリズムを企画し、インバウンドを含めて地域の外に情報発信を行いたい。SNSで情報発信し、当該施設や久留米市の名産・特産を知ってもらうことで、地域活性に取り組みたい。最後にアメニティだが、ドライヤー、ティッシュ、綿棒などの消耗品を考えている。

【委員質問・意見】

プラスチック製品を置くという趣旨ではないということで良いか。

【応募団体回答】

はい。

【委員質問・意見】

教室の中で有酸素運動をという話がでたが、場所をとるエアロバイクやトレッドミルを置くということか。久留米市がウォーキングのまちを標榜しているが、健康推進課や体育スポーツ課との繋がりや、総合スポーツ施設の先進地として地域との連携を考えてほしい。それが地域の特性を活かすことになると思う。

【応募団体回答】

貴重な意見として、管理運営に役立てていきたい。

(2) 応募団体B（14：05～14：45）

【委員質問・意見】

市民の健康増進や体力向上に役立つ公共施設という施設の目的から、トレーニング室の活用や機器のあり方に関して考え方を伺いたい。

【応募団体回答】

マシンについては、誰もが使い勝手のよい人間工学に基づいたものを設置予定としているが、ある程度トレーニングをする方にも十分対応できるものである。施策は、インボディ（体脂肪や筋肉量など）を測定できるものを設置し、データをもとに運動の必要性を提案したあとトレーニングメニューを作成し、健康増進と利用の定着に繋げていきたいと考えている。

【委員質問・意見】

指定管理している類似施設では、障害者の方はどのくらい利用されているのか。
また、障害者の方が利用されている場合、指導員は1人で足りるのか。

【応募団体回答】

一般の方と障害者を一緒に指導している。プールの場合、通常は約10人を1人の指導者で行っているが、1人追加でサポートに入ったり、上からの監視でサポートしたりなど、特別に人員を増やして対応している。

【委員質問・意見】

提案書で障害に関する記述が詳細で、種別や資格が多く書かれているが、これは全てに対応しているということなのか。

【応募団体回答】

はい。

【委員質問・意見】

今の話だと少し人数が足りないように感じるがどうか。

【応募団体回答】

福岡県の障害者スポーツ協会と連携をしながら対応したい。グループ会社に障害者で構成された団体があるので、障害者の方の受け入れのときや、日頃の事業運営についてなどを相談している。

【委員質問・意見】

現在、パラスポーツをしている方の後継者がいないことが問題となっているが、障害者の方と支えていく方の両方にアプローチしていく必要がある。障害者の方の情報を持っているのならば、その方を指導員にしていくことを含めて考えてもらおうと、やさしい施設になっていくと思う。

【応募団体回答】

ぜひ資格は受けたい。また、有資格者の採用もしていきたい。障害者の方がスペシャルオリンピックなど目指せるような環境を広くつくっていききたい。

【委員質問・意見】

利用拡大に関する取り組みについて、育児ストレスの解消のための親子スイミングとあるが、そういった目的の場合は子どもと別にし、託児サービスなどを設けて、お母さん自身の体に意識を向けるという機会が必要だと思うが、そういった視点やアイデアはあるのか。また、研修体制について、レベルアップ研修の類似施設での頻度と研修内容を教えてほしい。

【応募団体回答】

親子スイミングに関しては、同じ悩みを抱えているお母さんがいると思うので企画した。お母さんだけやお父さんだけの企画もニーズに合わせて考えている。その場合はスタッフで託児所なども考えていく。次に研修については、健康運動指導士を中心に月1回、休館日を利用して講習を行っている。補足として、子育て世代への企画については、小さい子どもを育てている社員がいるので、その社員を中心にプログラムを考えたり、どこにどんな不便さがあるのかを考えたりしている。

【委員質問・意見】

提案書にある不平等の解消とはどのような意味か。次に、利用者数の目標は135,000人と116,000人のどちらが正しいのか。また、自主事業の収入として、フリーパス券をつくって収入を増やしていくとある。これは、条例があるので実施できるかどうか協議が必要になると思うが、仮に実施できないとした場合は、提案されている収支計画で可能なのか。最後に、学校等へ出張講座は人員配置など体制的にどのように考えているのか。

【応募団体回答】

不平等の解消についてだが、政府の第2期スポーツ計画及び久留米市の推進計画の中に、女性と仕事で忙しい方に関して運動に接することが難しいとある。全世代において、運動が社会を盛り上げる場になるということが謳われているので、平準化する意味で不平等の解消と記載した。次に、利用者の目標は116,000人が正しい。また、フリーパスについては、市の承認が得られない場合でも、一般の方の

利用の定着を行う施策でカバーできると考える。最後に出前講座の体制だが、当該施設職員だけではなく、本社側のメンバーを含め派遣する。間接経費のところに計上している。

(3) 応募団体C (14:55~15:35)

【委員質問・意見】

市民の健康増進や体力向上に役立つ公共施設という施設の目的から、トレーニング室の活用や機器のあり方に関して考え方を伺いたい。

【応募団体回答】

前回(5年前)全ての機器を入れ替えたが、今回は費用の面から再リースする。トレーニングとプールの利用のバランスをとって、市民の体力向上に貢献したい。利益が計画以上に出た場合は、利用者のニーズに応えるマシンの増設や古くなったマシンの入れ替えを検討したい。

【委員質問・意見】

資格要件の記載がないようだが、人的な質の担保は従来通りと考えて良いのか。また、当該施設では飛び込みができないが、バックボードの設置は必要か。

【応募団体回答】

プールの監視については、日赤の救急法、仕様書に示されている普通救命、AED・CPRプロパイダー、トレーニングルームについては、トレーニング指導者、指導士、健康運動実践者の資格を推奨している。他にも健康運動指導士の資格の検討など、積極的に資格取得の推奨を行う。研修は、日常的に水上安全法の有資格者や経験を有しているものによる水中救助法の研修を行い、年に2回は施設の救急連絡体制を含めた研修を行っている。また、バックボードについて、当該施設では飛び込みはできないが、他施設でターンをするときや混雑しているときに利用者同士ぶつかって怪我をする事例があるため、これまでにあった固定器具の附属で頸椎を固定するものを導入する。

【委員質問・意見】

障害者の方の利用対応はどう考えているのか。

【応募団体回答】

当該施設は多くの障害者に利用いただいていることが特徴であるため、利用者や付き添いの方にアンケートを実施し、困り事などを聞き取っている。できることはすぐに対応し、施設の改修等が必要なときは市と協議しながら行っているところである。また、県の障害者スポーツ協会と連携した研修を計画している。

【委員質問・意見】

コロナ禍での稼働日数と感染症予防対策を教えてほしい。

【応募団体回答】

例年280日~290日営業しているが、昨年度は60日ほど営業日が減り、利用者は半分以下となっている。感染症予防対策として、検温、利用者の把握、時間毎の消毒、換気を行っている。

【委員質問・意見】

Web広告の導入について、ページ見本のターゲット層がミスマッチだと思うが、あくまで一例ということか。

【応募団体回答】

他施設のサンプルである。Web 広告をするにあたっては、専門の企業に発注するため、マーケティングをし、ランニングページを作っていくことになる。

【委員質問・意見】

券売機のコスト縮減の面から定期保守点検不要とあるが、故障した際の対応について説明してほしい。また、託児サービスの方向性を具体的に示してほしい。

【応募団体回答】

券売機は新規入れ替えのため、1 年目は保障期間内で点検は無料となる。2 年目以降については、夏場に臨時でもう 1 台リースすること、緊急で対応が必要なときの予算を計上しており、業者とも連携していることなどから問題ない。託児サービスは、教室のときを考えている。保育士の派遣は、他施設でも経験がある。

3 評価等協議

【委員講評】

- ・シンコースポーツ・アズビルグループには、現指定管理者としてコロナ禍の現状を説明してほしかった。
- ・現指定管理者の問題点や良い点など、市民からあがっているなら知りたい。

【事務局回答】

- ・定期的にモニタリングを行っているが、指定管理者としてサービスの向上には努められている。また、現状の運営について、クレームや対応に問題があるという指摘はない。コロナ禍において、運営を苦慮されていたというのが実情である。

4 結果報告及び優先交渉権者決定について

(1) 事務局からの結果の報告

・シンコースポーツ・アズビルグループ	1, 0 4 7 点
・西部ガスグループ共同事業体	1, 0 0 1 点
・セイカスポーツセンター・クリーン工房共同事業体	8 7 2 点

(2) 優先交渉権者及び第 2 交渉権者の決定

- ・優先交渉権者 シンコースポーツ・アズビルグループ
- ・第 2 交渉権者 西部ガスグループ共同事業体

5 その他

今後のスケジュールについて

- ・優先交渉権者と協定締結に向けての協議後、仮協定を締結する。
- ・1 2 月市議会で議決・承認後に正式決定。
- ・公表はホームページで行う。